

留 学 報 告 書

記入日:2019年5月14日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ジョージア大学 現地言語: University of Georgia
留学期間	2018年7月～2019年5月
留学した時の学年	大学二年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	二年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月13日
明治大学卒業予定年	20210年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月上旬～12月中旬 2 学期:1月上旬～5月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37606(大学院生を含め)
創立年	1785

留学費用項目	現地通貨(\$)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学の為
宿舍費	3670	402445円	
食費	4036	442580円	
図書費	420	46056円	
学用品費	10	1096円	
教養娯楽費	1467	1600868円	
被服費	400	43863円	
医療費	0	0円	
保険費		円	形態:明治大学の保険、ジョージアの方は免除申請を出した
渡航旅費	2553	280,000円	
雑費		円	
その他	3921	430000円	休み中の旅行費
その他		円	
その他		円	
合計	16477	3246908円	

渡航関連

渡航経路: 往路 成田ーアトランタ
復路: アトランターラスベガスーロサンジェルスー羽田

渡航費用

チケットの種類	片道
往路	16万
復路	12万
合計	28万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

kiwi.com

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 4人)

3) 住居を探した方法:

大学側が提供してくれる。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ベットと机がある個室を持ちつつ、2人のアメリカ人1人の留学生とキッチン、バスルームを共有する形です。徒歩2分の距離に食堂、事務などがありとても居心地の良い場所です。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 一度酷い頭痛があり、行きました。寮からは徒歩5分ほどの近さにある大学のクリニックに行きました。

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ありました。私の時には留学前からの手続きに対してメールを定期的に送ってくださっていた方にメールをしました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

私自身はなかったものの、友人がアトランタの駅近くでバスを待っていた時に盗難にありました。大学の位置するアセンズは安全であるものの、アトランタは学生だけの街でないことから注意したほうが良いです。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮内ではほぼどこでもWi-Fiがあります。接続もよいので旅行に行く以外で携帯の契約なしでも問題なく生活できます。私の場合は一学期はオリエンテーションで携帯会社が来られていたのでTmobileの家族プランが一番安かったことから5人の友達と契約をしました。二学期目は携帯の契約なしで生活しました。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

少し現金を持っていきました。現金は少し持つていくといいです。友達との旅行やレストランなどで割り勘をしたときに現金は必要になります。しかしほぼクレジットカードで何とかできます。銀行の口座は開きましたが、もし働く予定のない人であれば正直言って必要なしです。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

コンタクトレンズ、薬などは日本の方が良い。その他の物はすべて調達可能です。もし必要であれば日本のお菓子やみそ汁も持っていくといいです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
インターネット（外資就職）	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。	
今の時点ではコンサル業界を希望しています。	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。	
外資系を希望していることは留学前当時から変わらず、特にどの業界化については留学中の多くの人々との出会いから見つけ出しました。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 27(まだ申請中なので確定ではありません)単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ECON2106 principles of microeconomics	経済学
科目設置学部・研究科	econ
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	Thomas P McGahee, Ph D
授業内容	ミクロ経済の基本。
試験・課題など	試験は合計 4 回でそのうちの1番低い点数の試験を落とすことができる。課題はすべてオンラインで行われ、一週間に一回の頻度で出る。
感想を自由記入	試験自体は宿題をしっかりと復習すれば簡単に解くことのできる問題となっている。オンラインの宿題は理解するのにとても役立ちます。試験はすべて選択式である。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CSCI1100 Topics in computing	コンピューターの基本
科目設置学部・研究科	computer science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Eman Saleh
授業内容	コンピューターの基本の情報やソフトの使い方など
試験・課題など	試験は中間と期末、小さなクイズが2、3回あった。すべて選択式である。課題は合計2、3回出るのみ。
感想を自由記入	週に一回は実際にコンピューターを使つての講義となり、ウェブサイトを作ってみたりと実践的に勉強できる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FHCE2100 Family Economic issues through the life course	家族経済学
科目設置学部・研究科	family econ
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Diann Moorman
授業内容	家族にまつわる大きな決断の下し方(家、車、子供)これらにまつわる法律や選択肢のいい点と悪い点を比較していく。
試験・課題など	試験は合計 4 回、全てオンラインで行われる。クイズも試験と同じタイミングで受ける形で計 4 回。普段は課題が出ることがない。
感想を自由記入	教授の説明がとても興味深くわかりやすい。生きていくうえで誰しもが直面する選択の場面であり、とても身になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FHCE3200 Introduction to personal finance	パーソナルファイナンス
科目設置学部・研究科	family econ
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Michael Thomas
授業内容	保険、家、投資、税、奨学金などの生活にまつわるお金の使い方や、貯金の仕方を学ぶ。
試験・課題など	試験は全部で 3 回、オンラインで行われる。クイズは毎週出される。3 回プロジェクトをする必要がある。
感想を自由記入	アメリカで生きていくうえで必要な知識を得られる。お金を大きく貯めることのできるアドバイスを多く学べる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ACCT2101 Principles of accounting 1	会計学
科目設置学部・研究科	accounting
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 23 丁目回
担当教授	Ted christensen
授業内容	会計学の基本を学ぶ。アメリカの企業会計原則、財務会計、複式簿記、清算書の書き方や仕組みを学ぶ。
試験・課題など	試験は合計 3 回、期末は受けても受けなくても良い。しっかりと練習問題をこなせば難しくはない。毎回の授業で出席がとられる、課題も毎授業出される。教科書を読んでクイズを解く形式である。
感想を自由記入	会計学に対して全く興味もなく、抵抗さえあったが、教授が情熱的でとても興味深い講義であった。他のビジネス系の講義を履修するのに絶対に取らなくてはならない講義であるのでもし興味があるならば一学期目で取ることを薦める。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FHCE3100 Introductory consumer economics	家族経済学
科目設置学部・研究科	family econ
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Diann Moorman
授業内容	食べ物、水の安全問題、歴史。投資、自動車、家などの決断の仕方。住宅市場が崩壊した歴史、理由。
試験・課題など	試験は計 4 回、オンライン。クイズも同じタイミングで行われる。課題は特に出されることはない。
感想を自由記入	教授がとても興味深い。ビジネス科目ではないもののそれに近い内容を勉強するのでビジネスをガッツリ学ぶのではなく少し触れたい程度であるならば履修すべき。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ACCT2102 Principles of accounting 2	会計学2
科目設置学部・研究科	accounting
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jason Matthews
授業内容	会社の内部で利益や商品の価格、量、場所などを決めるにおいて必要となる分析に使われる会計を学ぶ。
試験・課題など	試験は計 3 回。期末は行われない。欠席、宿題に関しては毎回出される。
感想を自由記入	会計学 1 を履修していないと 2 をとる事はできない。会計学2については会社の経営においてとても重要であり、ビジネスの仕組みを理解するうえで必要となるのでとても役に立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
RMIN4000 Risk management and insurance	リスクマネジメントと保険
科目設置学部・研究科	risk management
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Daniel Brown
授業内容	保険の基礎知識、どのような種類の保険が市場にあるのか、どのように選択していけばいいのか
試験・課題など	試験は合計4回。その内の1回は受けなくてもよい。課題は特になし。出席は毎回取られる。
感想を自由記入	企業だけでなく、個人が必要となる保険の種類が学べる。車、家、生命保険など種類別で学ぶことができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FINA3000 Financial Management	財政学
科目設置学部・研究科	finance
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chris Pope
授業内容	株や債券などの価格の変動を促す要因、会社の持つリスクの種類や数値で表す方法、貨幣の時間的価値。
試験・課題など	試験は計3回。期末はオプショナル。課題は毎授業出席を取る目的で出される。
感想を自由記入	教授の説明はとても早く、内容自体もかなり挑戦的である。しかし金融に興味のある方は取得するべきである。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	大学入学 TOEFL の勉強
8月～9月	留学先決定
10月～12月	出願のための準備(書類選考) 面接
2018年 1月～3月	留学結果を受け取る
4月～7月	留学への準備(宿泊先、VISA の登録、奨学金の申請) 出国
8月～9月	オリエンテーション 授業開始
10月～12月	期末テスト 冬休み
2019年 1月～3月	新学期の開始 春休み
4月～7月	期末試験 帰国 就活
8月～9月	インターンシップ、就活
10月～12月	明治大学授業開始

留学体験記

以下の各項目についてそれぞれ 200 字以上で具体的にご回答ください。

留学しようと決めた理由	一番の理由は、日本の大学では学べない授業の履修をしたかったからです。また、語学もシステムも異なり、知り合いのいない土地で新たな生活を送ることを通じて強い精神力を持ちたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	スピーキング力は友人関係を持つのにとても重要となるので英語を使う機会を最大限にすることをお勧めします。留学で何を目標とするのかをしっかりと書き込んでおくことも大事だと思います。
この留学先を選んだ理由	ジョージア大学のテリーが提供するビジネス科目はとても充実しており、レベルも高くなっている。アセンズは大学街であることから安全で学業に集中できると思った為です。
大学・学生の雰囲気	校舎はとても広く、フットボールスタジアム、映画館、ゲームコーナー、ジムなど多くの施設が整っている。学生たちは多様性に溢れており、様々な国の学生団体があります。学内にはスクールバスが定期的に出ていることから困ることはありません。
寮の雰囲気	全ての留学生は ECV という名の寮に住んでおり、交流がしやすい環境にありました。寮の RA が毎週イベントを企画してくれることから寮に住む学生と仲良くなるのにはもってこいの機会であると思います。
交友関係	初めの1, 2か月は留学生以外の友達を作ることが難しかったが、その後 UGAUNION と呼ばれるイベント企画をするコミュニティに入り、新しい友達に出会いました。その後も、友達が他の友達を紹介してくれたことから様々な友達が出来、ホームパーティーに誘ってもらえたり、レストランに連れて行ってもらったりしました。
困ったこと、大変だったこと	スーパーへのアクセスがあまり良くないことです。 その他はテストを受ける際にリーディングのスピードをあげる事が大変であった。
学習内容・勉強について	会計学、財政学、経済学などビジネス中心の講義を履修しました。授業内で難しいと感じた部分についての内容は教科書で調べてみたり、教授のオフィスアワーに行くことで理解に努めました。クラスに友達を作り、一緒に勉強をすることでモチベーションの維持や助け合いをしました。
課題・試験について	授業後に毎回宿題をこなし、復習をすることが試験で良い成績を保つのにとても重要でした。1日に2つの試験などがあると復習をする時のバランスがかなり大変で、早めに準備を始めることが大切です。
大学外の活動について	アセンズのダウンタウンで行われた国際フェスティバルで子供たちに他の国のゲームを紹介するブースでボランティアを行った。
留学を志す人へ	留学の選考過程では TOEFL の勉強からエッセーの作成など不安が多く溜まると思いますが、全力を出し切って選考を通った先には大学生活で一番の経験を得ることができます！頑張ってください！

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		パートタイム
	授業	授業	授業	授業	授業	友達と遊ぶ	パートタイム
午後	授業	授業	授業	授業	授業	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
	友達と遊ぶ	UGAUNION ミーティング	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
夕刻	宿題	宿題	宿題	宿題	宿題	宿題	宿題
夜	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム	ジム